

「有明海のなぜ？」シンポジウム緊急フォーラム

有明海の未来を拓くために

平成22年12月10日
佐賀県知事 古川 康



有明海再生に向けた 佐賀県の取組

環境変化の原因究明

特に諫早湾干拓開門調査に対して

再生事業等の実施

有明海の環境変化の原因究明に向けて

これまでの研究成果（大学、国、県）

【環境変化の要因】

- ・ 外海潮汐の影響（潮位上昇）
- ・ 地形改変による影響（干拓、埋立）
- ・ 陸域からの影響（土砂供給減少、栄養塩負荷）
- ・ 温暖化による気象変化（気温、海水温上昇）

定性的な説明まで

【短期開門調査（第1段階）】

得られた成果は限定的

定量的な説明が必要
（特に漁業への影響）

中・長期
開門調査
（第2段階）

環境変化の原因について結論を！

取り組むべき課題と解決策の提案

短期的課題

開門調査の実施

大きく前進

課題は
実施方法

➤被害が生じないような
環境整備と時間が必要

➤有明海再生につながる
調査計画と結果の評価
が重要

中・長期的課題

- ・他の環境変化要因の検討
- ・再生事業の推進

体系的に
取り組む
ことが重要

➤再生に向けた
道筋(ロードマップ)策定

開門調査の実施に向けて

目的

- ・・・何を知りたいのか

計画

- ・・・どうすれば分かるのか

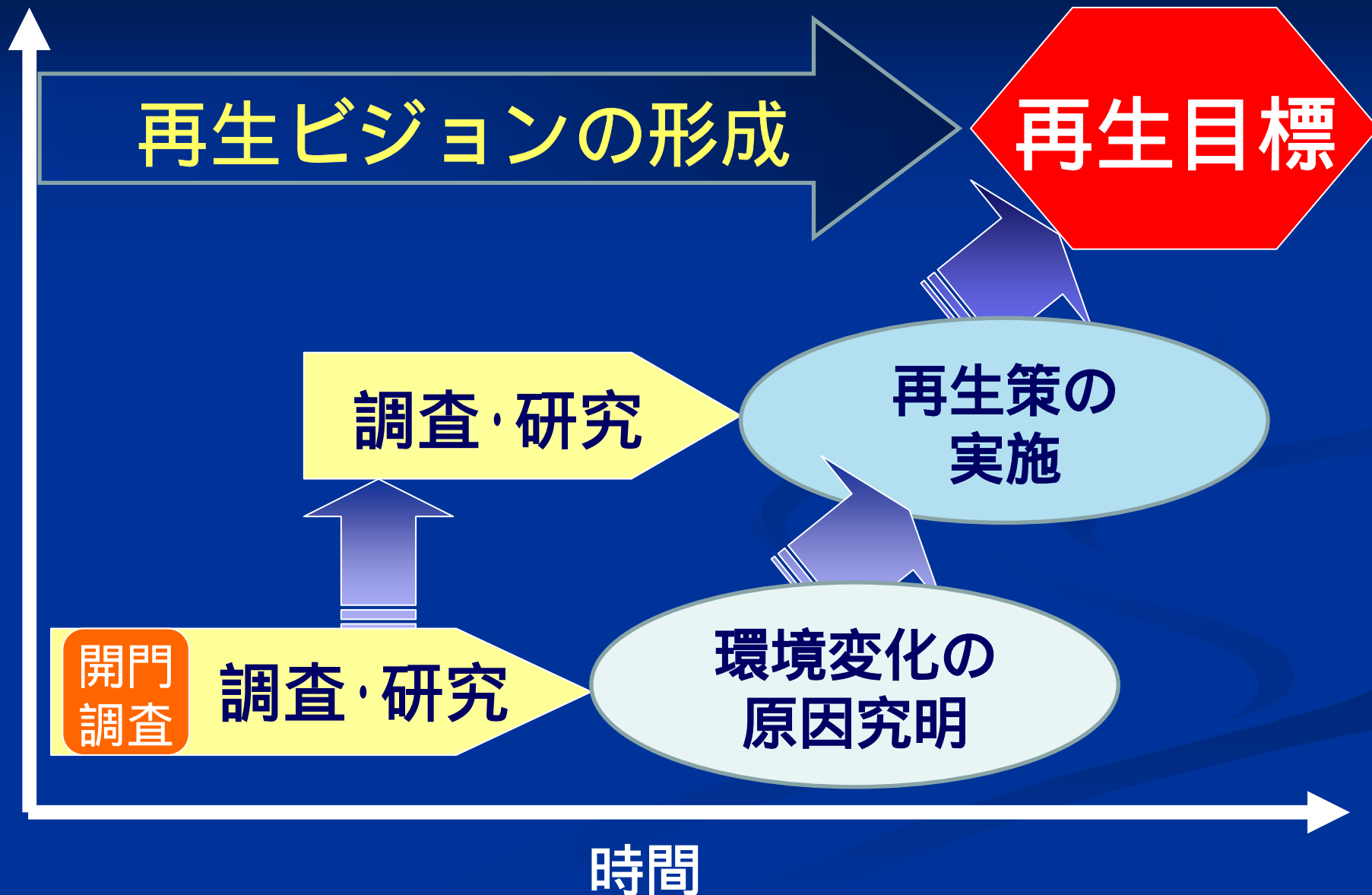
実施

- ・・・誰にも被害を及ぼさない
ような環境整備も必要

評価

- ・・・有明海再生につながる
評価が必要

ロードマップのイメージ



ロードマップ策定に向けて

漁業者

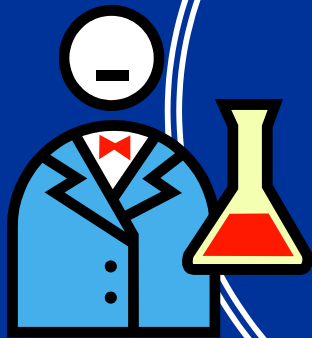


共通認識の
醸成

議論

目標は？
いつまでに？
手段は？
評価方法は？

共通認識
の
醸成



研究者



市民



行政

体系的取組

実効あるものとするためには、

多くの主体による一体的な取組が必要

fin

ご清聴ありがとうございました。

佐賀県知事 古川 康

